

長期断水時の生活についての参考資料 ①

大井自主防災 かわせみ

昨年の台風時には、一部で停電と断水が同時に発生しました。また、3・11大震災での経験から、以下の「工夫と共助」によりある程度の生活は維持できると思います。

ただ、トイレとお風呂は、「自助」でしのげない「災害弱者」を「共助」で支援する必要があります。

1. 食事関係の工夫

調理関係ではラップを使うことで、大きな節水が可能です。特に食器の洗浄では効果大です。圧力鍋・無水鍋は少量の水で調理ができます。食材によっては、ラップ+電子レンジ加熱も便利な方法です。



**食器にかぶせて使用する
紙容器等のゴミが出ない**

2. トイレと風呂(自宅が一番リラックスできる場所です)

各自の状況は異なりますので、ここでは一番簡単な方法を提案します。

「非常時」であることを理解の上、ご自身にあった方法を考えて下さい。

お風呂は1回/2日又は3日とし、お湯は捨てないでトイレ用として使用(20回分以上)

**「追いだき」が出来るか？
事前確認が必要です。**

窓から給水



ボランティア



約200L

台車等でトイレに運ぶ
近い場合はポンプも
便利



トイレの種類に応じて給水(ホース又はバケツ)

トイレの我慢はしない! させない!



水洗トイレの場合、8~10L/1回必要(小便の場合は流すタイミングを考える)